

在宅医療通信

Vol.1



グレースメディカルグループ 医療連携事例



CASE1 医科 歯科

訪問歯科をご利用いただいている60代女性

訪問歯科で診療時に微熱と軽いのどの痛みがあったことで少し具合悪そうにされていた。

いつもと違う様子に心配になったため、ケアマネージャー様に連絡し当グループの医科で往診し検査を実施した。

結果、コロナ陽性であったためお薬を処方し、その後お元気になられ感謝のお言葉をいただきました。

GMGの連携でよい判断ができた事例でした。

CASE2 医科 訪問看護

他社のケアマネージャー様よりご依頼いただいた102歳女性

ケアマネージャー様より1週間程前に転倒し寝たきりになり、水分食欲が低下しお食事をほとんど食べられていないので診てほしい連絡があり、急遽往診した。

結果、栄養状態はもちろんのこと、脱水の疑いもあったため、ケアマネージャー様に連絡し当グループの訪問看護を入れていただき、特別指示書により補液を開始。

その後、少しずつ経口摂取もできるようになり、ご家族及びケアマネージャー様より大変喜ばれました。

グループであるからこそそのスピード感のある連携を発揮できた事例でした。



グレースメディカルグループ 医療連携事例



CASE3 医科 歯科 訪問看護 居宅

医科・歯科・訪問看護・居宅ともにグレースメディカルグループのサービスを使っている80代女性

ある日の訪問歯科ご利用の訪問時、転倒の形跡があり、額から出血及び足の痛みの訴えあり。

直ちに担当ケアマネージャー様へ連絡をいれた。

歯科終了後、訪問看護の予定だったため、看護師が確認しすぐさま医科に臨時往診の依頼をした。

額の傷の縫合と足のレントゲン撮影を行い、結果足は打撲との判断となった。

後日、改めてご家族より訪問時に気づいて連絡を下さり、直ちに適切な処置をしていただきありがとうございましたと感謝のご連絡をいただきました。

患者様の状態が普段と異なっていた時、各所が連携し的確な処置ができた事例でした。

グレースメディカルグループとしましては、今後も訪問時の患者様の状態の変化【いつもと違う】ということを感じ、適切な処置につなげられるよう、ワンチームで患者様をサポートしていきたいと思っております。